

2020年7月8日(水) 毎日新聞

長崎大の学生支援を

新型コロナで経済的困窮

キワニスクラブが寄付

新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮する長崎大学の学生を支援しようと、子供や学生への奉仕活動をしている民間団体「長崎キワニスクラブ」(水嶋英治会長)が7日、計75万円を長崎大生15人に寄付した。



水嶋会長(左端)から目録を受け取る瓜生さん(中央)ら

のメンバー。アルバイト収入の減少などで生活が苦しい学生を対象に、一人につき5万円が贈られた。海援隊代表の瓜生信汰朗さん(20)は「アルバイト先が休業して収入がゼロになり、貯金を使って家賃や生活費を賄っていた時期もあった。アルバイトは再開したが収入は以前より少ないのでありがたい」と喜んだ。

【松尾沙織】

2020年7月8日(水) 長崎新聞

長崎大生に生活支援金

キワニスクラブ

子どもの支援に力を入れている国際的な奉仕団体の県内組織「長崎キワニスクラブ」(水嶋英治会長)は7日、新型コロナウイルスの影響でアルバイト収入が減少し、困窮している長崎



瓜生さん(中央)に目録を手渡す水嶋会長(左) =長崎市内のホテル

大の学生15人に生活支援金として1人当たり5万円、計75万円を贈った。

15人は海岸清掃に取り組む長崎大の団体「ながさき海援隊」のメンバー。同クラブの学生部門「サークルK」として活動している。

長崎市内のホテルで贈呈式があり、同大水産学部3年で同隊6代目代表の瓜生信汰朗さん(20)、同2年で副代表の平松佳菜子さん(20)が出席した。

水嶋会長が「わずかだが生活に役立ててほしい」と目録を手渡し、瓜生さんは「アルバイト先が休業して生活に苦しんでいるという声がメンバーから多く寄せられていた」と支援に感謝した。

(田中祐作)